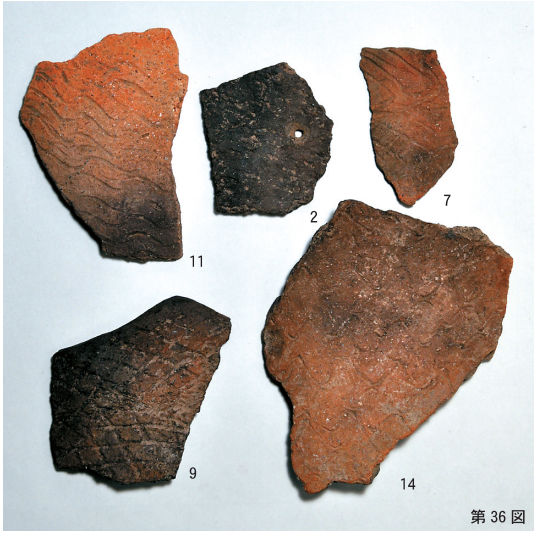
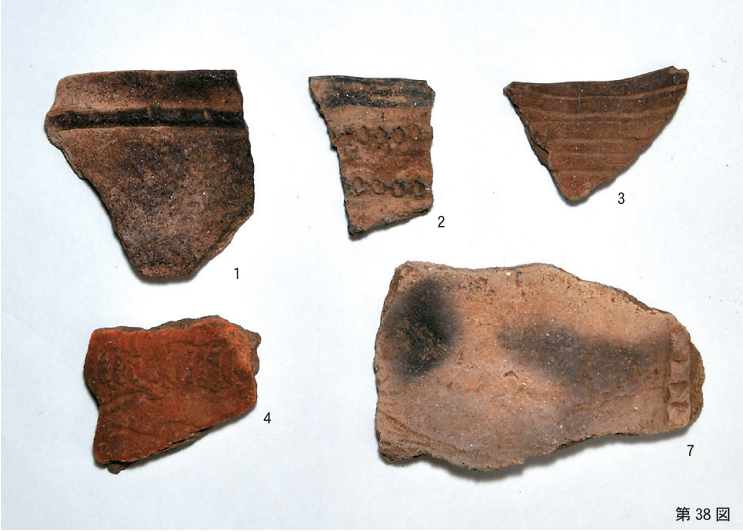


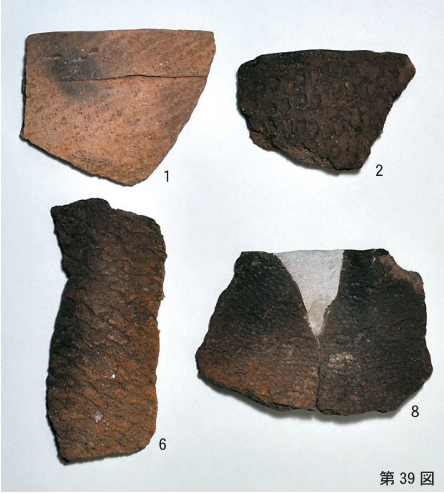
第 36 図

第 37 図



第 38 図

第 14 図
第 12 図



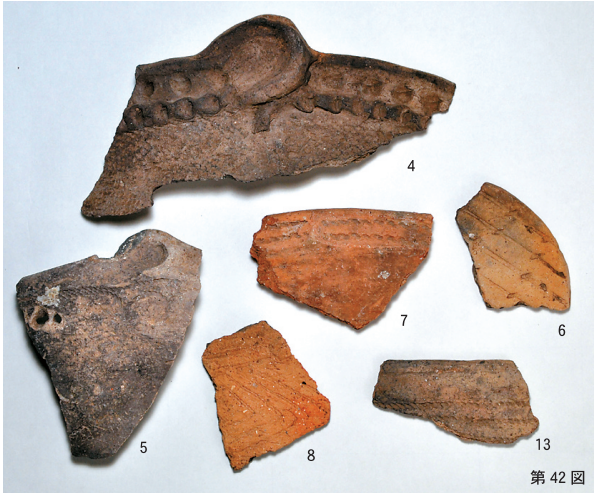
第 39 図

第 40 図

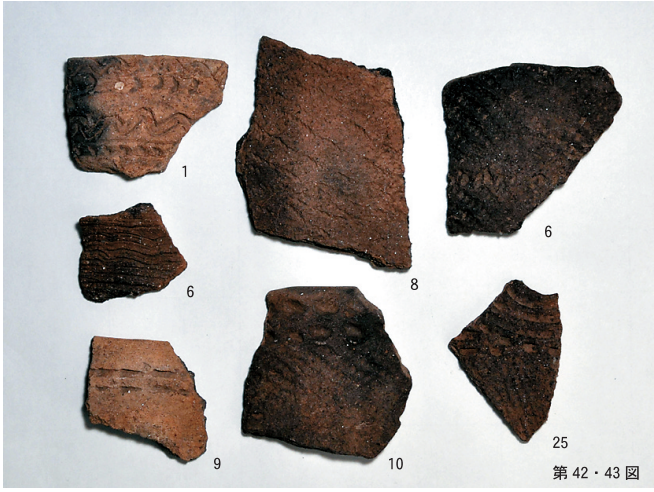
第 41 図

第 44 図

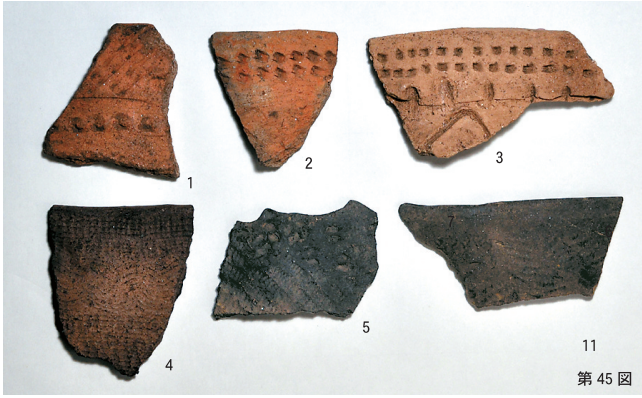
写真図版 13　A 地点出土土器（6）・B 地点出土土器（2）　※縮尺任意



第 42 図



第 42・43 図



第 45 図

第 45 図 9

第 47 図 1
第 47 図 2
第 47 図 4
第 47 図 3

第 47 図 5

第 50 図 1

第 50 図 2

第 50 図 3

第 50 図 4

第 50 図 5

第 50 図 6

写真図版 14　B 地点出土土器（3）　A・B 地点出土土製品・骨角器 ※縮尺任意

磨製石斧　第 48 図 1

磨石＋敲石　第 48 図 2

磨石＋敲石　第 48 図 3

磨石　第 48 図 4

磨石　第 48 図 5

敲石　第 48 図 6

磨製石斧　第 48 図 7

磨製石斧　第 48 図 8

磨石　第 49 図 9

玦状耳飾り

写真図版 15　A・B 地点出土石器・石製品　※縮尺任意

報　告　書　抄　録

ふりがな	だいぎがこいかいづか
書名	大木囲貝塚
副書名	災害復旧に伴う東貝層発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	七ヶ浜町文化財調査報告書
シリーズ番号	第10集
著者名	田村正樹
編集機関	七ヶ浜町教育委員会
所在地	〒985-8577　宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1　TEL:022-357-2111
発行年月日	西暦2013年（平成25年）7月30日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
だいぎがこいかいづか 大木囲貝塚	みやぎぐんしちがはままち 宮城郡七ヶ浜町 とうぐうはまあざひがしだいぎ 東宮浜字東大木9 他	04404	20006	38度 18分 15秒	141度 2分 40秒	2012.6.5 ～ 2012.12. 22	A地点 20㎡ B地点 16.2㎡	災害復旧に伴う事前調査

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物
大木囲貝塚	貝塚・集落跡	縄文時代前期 前葉～中葉	貝層・土壙 土壙墓（人骨）	縄文土器、石器、石製品（玦状耳飾り）、骨角製品（櫛・針・釣針）、動物遺存体

要約

大木囲貝塚は、宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字東大木他の丘陵上に所在する。本調査は、台風15号による斜面崩落に伴う災害復旧工事の事前調査である。丘陵東側の斜面に分布する東貝層のＡ・Ｂ地点の発掘調査を行い、Ａ地点では縄文前期前葉の貝層と縄文前期と考えられる土壙墓１基と人骨1体分を検出した。また、Ｂ地点では、縄文前期前葉の小規模な貝層と遺物包含層、土壙２基を検出した。

出土遺物は、大木2a･2b式を主体とする縄文前期前葉の土器、石器、石製品、骨角製品、動物遺存体が出土した。Ａ地点の貝層最下層（3s層）からは、大木2a・2b式の土器破片とともに鹿角が出土している。Ａ地点の表採資料として、骨製櫛が出土しており、昭和52･53年度に調査が行われた大木囲貝塚西貝層CS77地点出土の鹿角製櫛と規格、形態、装飾方法等が類似する。共に、共伴する土器から縄文前期前葉（大木1～3式期）に属すると考えられ、当時の骨角製品の製作技術を知る貴重な資料である。

七ヶ浜町文化財調査報告書第10集

大木囲貝塚

平成25年(2013年)7月30日　印刷・発行

発　行　**七ヶ浜町教育委員会**

〒985-8577 宮城県宮城郡七ヶ浜町東宮浜字丑谷辺5-1
TEL 022-357-2111(代)　FAX 022-357-5744

印　刷　株式会社 **鈴木印刷所**

〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新谷地前121
TEL 0225-22-4101(代)　FAX 0225-94-2354